

	都市の立地	学習日 月 日	名前
--	--------------	------------	----

要点ノート P112～

【都市の立地】

村落は人が住みやすい自然条件で十分だが、都市になると大規模になるので社会条件が必要になる。

＜物資の交易点、主要交通路沿い、重要な道路の交わる場所＞

例)現在の東京における副都心の立地

東京の中心部から山手線という環状線がある。その環状線と郊外への交通手段の交差点である新宿、渋谷、品川、上野などが副都心として発展しており、都心の機能の一部を担っている。

また、農業・漁業だけでなく、政治・経済(金融等)・文化の中心としての役割も担うようになっていく。

村落よりも都市のほうが様々な形態がある。

平野 … 平野の中心 = 政治経済文化の中心 (モスクワ・ベルリン・パリ)

谷口 … 山地と平野の物資を交換する場所。(1)が発達

※ 関東平野の谷口集落の発展が有名(要点ノートp113、教科書 p181)

湖畔 … (2) - シガン湖、(3) - レマン湖

峠のふもと … トリノ - モンスニ峠、ペシャワール - (4)、小田原・三島 - (5)

＜海上＞

湾頭 … サンクトペテルスブルク(フィンランド湾)、ボルティモア(チェサピーク湾)、フィラデルフィア(デラウェア湾)

海峡 … (6) - ボスポラス海峡、ジブラルタル - ジブラルタル海峡

運河 … ポートサイド・スエズ(7)、コロン・バルボア(8)

＜河川＞

河口 … (9) - ハドソン川、上海 - 長江、ニューオリンズ - ミシシッピ川

渡津 … 街道と河川の接点に宿場町などの都市が発達。河川の両岸で対向集落(双子都市)を形成

(10)とセントポール - ミシシッピ川、(11) - ドナウ川

(12)と金谷 - 大井川

合流点 … (13) - ミシシッピ川とミズーリ川、ベオグラード - ドナウ川とサバ川

(14) - 長江とハン川

潮汐限界点 … 満水時に海水が河川に流入する限界地点

(15) - テムズ川、(16) - エルベ川

【都市発達の歴史】

古代

周囲に城壁を備えた(17)都市 = 国の防衛の拠点、特に核心部を守るための都市

バビロン、長安など

ギリシアには都市国家(18)が成立。アテネ、スパルタなど

地中海沿岸の植民市(19) = 現:チュニジア、ナポリ

ローマ帝国辺境の要塞都市。パリ、ロンドン、ウィーンなど

中世

商業都市や自治都市が発達

ドイツには(20)都市が発達 … (21)が盟主、ハンブルクやブレーメンなど

近世

各国の中央集権化が進み、(22)が発達

現代

産業革命後、工業都市が発達、人口が集中しメロポリスを形成

メロポリス … 巨大都市、周囲の都市や地域に大きな影響を持つ巨大都市のこと

メガロポリス … 巨帯都市、多くの大都市が鉄道や道路で結ばれ、帯状に連なっているもの